

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 2340890 _ 001

【1.基本情報】

事業名	科学館施設管理					
担当部名	教育委員会事務局		担当課名	科学館		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	昭和	55	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	市民の科学に対する興味関心を高め、科学する心や創造力を育み、合わせて科学知識の普及向上を図る。					
内容 (手段・手法など)	科学技術の進歩や自然のすばらしさを感じ取ることのできる展示物更新やプラネタリウム新番組導入等により、来館者が満足できるサービスを提供をする。					
事業の 対象	何を	科学及び自然のすばらしさの体験				
	誰に	入館者(子どもから大人まで)				
	どのくらい	月曜日、祝日の翌日および年末年始を除く毎日				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	11,700	360	8,979	278	11,003	346
パートタイム会計年度任用職員A	4,275	415	3,924	381	4,151	411
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	15,975	775	12,904	659	15,154	757

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		77,609	55,738	103,521
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	運営管理委託	24,101	29,262	27,804
	施設保守委託	10,376	10,571	10,957
	その他委託	0	232	474
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		77,609	55,738	103,521

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	93,584	68,642	118,675

【4.収入】

収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	869	0	29
県支出金	0	0	0
市債	0	0	32,800
使用料・手数料	3,802	7,880	11,117
その他	59	174	646
計(F)	4,730	8,054	44,592

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	88,854	60,588	74,083

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	科学館入館者	科学館入館者	科学館入館者
受益者数	24,316	40,541	86,395
受益者負担額(千円)	3,461	7,498	11,111
受益者負担率(%)	3.7%	10.9%	9.4%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	3,654	1,494	857

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	開館日数		単位	日
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	305	308	308	
実績値	253	247	308	

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	入館者数		単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	80,000	80,000	80,000	
実績値	24,316	40,541	86,395	
達成状況	×(未達成)		○(達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	市内小中学校との結びつきが強く、社会教育施設としての博物館の役割から市直営が妥当である。 市内小中学校との結びつきが強く、市民である児童生徒のためにも市が担う必要がある。 類似事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	岐阜市教育委員会として実施・運営することが効果的である。 科学館としては県内において当館ほどの規模の施設はないため、他に効率的な方法はない。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	毎年10万人以上が来館する。令和2、3年度はコロナ禍の影響があったが、4年度は回復傾向にあり、目標の入館者数を確保していることから、事業の目的は達していると考え。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	受益者(観覧者)に岐阜市科学館条例に定める観覧料の負担を求める一方、岐阜市科学館条例施行規則に定める市内小中学生、70歳以上の市内在住者、身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳交付者などとその介護者1名、岐阜県家庭の日に観覧する中学生以下と同伴家族を無料とし、教育的配慮と公平な受益者負担に努めている。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各種教室・講座・イベントの縮小開催などの影響はあったが、来館者数など回復傾向にある。市内小中学校と連携の維持・向上を目指し、社会教育施設としての博物館の役割を考えると現状維持が妥当である。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号	2340890	__ 002
----	---------	--------

【1.基本情報】

事業名	科学館常設展示					
担当部名	教育委員会事務局		担当課名	科学館		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	昭和	55	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	市民の科学に対する興味関心を高め、科学する心や創造力を育み、合わせて科学知識の普及向上を図る。					
内容 (手段・手法など)	科学技術の進歩や自然のすばらしさを感じ取ることのできる展示物更新やプラネタリウム新番組導入等による科学館運営をする。そして、来館者が満足できるサービスの提供をする。					
事業の対象	何を	科学及び自然のすばらしさの体験				
	誰に	入館者(子どもから大人まで)				
	どのくらい	月曜日、祝日の翌日および年末年始を除く毎日				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	17,550	540	17,959	556	21,974	691
パートタイム会計年度任用職員A	7,086	688	6,438	625	6,878	681
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	24,636	1,228	24,396	1,181	28,852	1,372

(2)物にかかるコスト

		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
直接経費 【直接事業費】 (B)		5,897	5,936	8,167
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	展示物保守委託	4,491	4,491	4,710
	製作作成委託	0	0	2,211
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		0	0	0
計(D)=B+C		5,897	5,936	8,167

(3)総コスト

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	30,533	30,332	37,019

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
市負担額一般 財源(E-F)	30,533	30,332	37,019

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	科学館入館者	科学館入館者	科学館入館者
受益者数	24,316	40,541	86,395
受益者負担額(千円)	3,461	7,498	11,111
受益者負担率(%)	11.3%	24.7%	30.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1,256	748	428

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	修繕回数		単位	回
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	-	-	-	-
実績値	8	5		6

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	入館者数		単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	80,000	80,000		80,000
実績値	24,316	40,541		86,395
達成状況	×(未達成)	×(未達成)		○(達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	市内小中学校との結びつきが強く、社会教育施設としての博物館の役割から市直営が妥当である。 市内小中学校との結びつきが強く、市民である児童生徒のためにも市が担う必要がある。 類似事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	岐阜市教育委員会として実施・運営することが効果的である。 科学館としては県内において当館ほどの規模の施設はないため、他に効率的な方法はない。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	毎年10万人以上が来館する。令和2、3年度はコロナ禍の影響があったが、4年度は回復傾向にあり、目標の入館者数を確保していることから、事業の目的は達していると考え。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	受益者(観覧者)に岐阜市科学館条例に定める観覧料の負担を求める一方、岐阜市科学館条例施行規則に定める市内小中学生、70歳以上の市内在住者、身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳交付者などとその介護者1名、岐阜県家庭の日に観覧する中学生以下と同伴家族を無料とし、教育的配慮と公平な受益者負担に努めている。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各種教室・講座・イベントの縮小開催などの影響はあったが、来館者数など回復傾向にある。市内小中学校と連携の維持・向上を目指し、社会教育施設としての博物館の役割を考えると現状維持が妥当である。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号	2340890	__ 003
----	---------	--------

【1.基本情報】

事業名	科学館プラネタリウム					
担当部名	教育委員会事務局		担当課名	科学館		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	昭和	63	年度～	年度	根拠法令・関連計画	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	市民の科学に対する興味関心を高め、科学する心や創造力を育み、合わせて科学知識の普及向上を図る。					
内容 (手段・手法など)	科学技術の進歩や自然のすばらしさを感じ取ることのできる展示物更新やプラネタリウム新番組導入等による科学館運営をする。そして、来館者が満足できるサービスの提供をする。					
事業の 対象	何を	科学及び自然のすばらしさの体験				
	誰に	入館者(子どもから大人まで)				
	どのくらい	月曜日、祝日の翌日および年末年始を除く毎日				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	11,700	360	8,979	278	11,003	346
パートタイム会計年度任用職員A	2,812	273	2,513	244	4,040	400
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	14,512	633	11,493	522	15,043	746

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		11,978	14,955	14,625
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	プラネ番組等使用料	10,563	13,022	13,074
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		11,978	14,955	14,625

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	26,490	26,448	29,668

【4.収入】

収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	26,490	26,448	29,668

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	科学館入館者	科学館入館者	科学館入館者
受益者数	24,316	40,541	86,395
受益者負担額(千円)	3,461	7,498	11,111
受益者負担率(%)	13.1%	28.4%	37.5%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1,089	652	343

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	参加人数		単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	50,000	50,000	50,000	
実績値	7,297	22,867	36,946	

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	入館者数		単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	80,000	80,000	80,000	
実績値	24,316	40,541	86,395	
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	○(達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	市内小中学校との結びつきが強く、社会教育施設としての博物館の役割から市直営が妥当である。 市内小中学校との結びつきが強く、市民である児童生徒のためにも市が担う必要がある。 類似事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	岐阜市教育委員会として実施・運営することが効果的である。 科学館としては県内において当館ほどの規模の施設はないため、他に効率的な方法はない。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	毎年10万人以上が来館する。令和2、3年度はコロナ禍の影響があったが、4年度は回復傾向にあり、目標の入館者数を確保していることから、事業の目的は達していると考え。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	受益者(観覧者)に岐阜市科学館条例に定める観覧料の負担を求める一方、岐阜市科学館条例施行規則に定める市内小中学生、70歳以上の市内在住者、身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳交付者などとその介護者1名、岐阜県家庭の日に観覧する中学生以下と同伴家族を無料とし、教育的配慮と公平な受益者負担に努めている。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各種教室・講座・イベントの縮小開催などの影響はあったが、来館者数など回復傾向にある。市内小中学校と連携の維持・向上を目指し、社会教育施設としての博物館の役割を考えると現状維持が妥当である。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号	2340890	__ 004
----	---------	--------

【1.基本情報】

事業名	科学館特別展					
担当部名	教育委員会事務局		担当課名		科学館	
実施方法	補助等	補助等の種類	その他負担金	実施主体	実行委員会	
開始・終了年度	平成	10	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	科学の魅力とすばらしさを体験・発見をしてもらう場を設け、科学への興味関心を高めてもらう。					
内容 (手段・手法など)	さまざまなテーマについて、通常の常設展示では見られない科学に関する展示を行う。					
事業の 対象	何を	通常では見られない科学に関する展示等				
	誰に	一般市民				
	どのくらい	おおむね夏休み期間中				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	コロナ禍のため、入場者数3万人を目標に縮小開催した。					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	0	0	3,434	108
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	818	81
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	305	61
計(A)	0	0	0	0	4,558	250

(2)物にかかるコスト

		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
直接経費 【直接事業費】 (B)		0	0	9,025
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	開催負担金	0	0	9,000
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		0	0	9,025

(3)総コスト

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	0	0	13,583

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳	令和2年度決算額(千円)		
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	9,463
計(F)	0	0	9,463

【5.収支】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
市負担額一般 財源(E-F)	0	0	4,120

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	特別展入場者	特別展入場者	特別展入場者
受益者数	-	-	29,861
受益者負担額(千円)	0	0	9,463
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	69.7%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	138

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	特別展開館日数		単位	日
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	35	35	41	
実績値	-	-	41	

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	特別展入場者		単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	40,000	20,000	30,000	
実績値	-	-	29,861	
達成状況	—	—	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	常設展ではできない規模の展示を行い、博物館として役割を高めているため現状が妥当である。 博物館としての役割を高めているので市が担う必要がある。 類似事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	岐阜市と岐阜新聞社との実行委員会で実施しており、広くPRもでき効率的である。 学校教育との結びつきも強く、公共性が高いため現状が妥当である。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	事業に係るコストに見合った観覧料を徴収することにより、収支バランスが確保されており、適正である。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	入場者数が多いほど、受益者1人当たりのコストが低減され、公平性は高い。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	目標であった入場者3万人にはわずかに満たなかったが、収支は黒字であった。また、さまざまなテーマについて、通常の常設展示では見られない科学に関する展示を行っており、社会教育施設としての博物館の役割を考えると現状維持が妥当である。なお、令和2、3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、特別展を中止した。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号	2340890	__ 005
----	---------	--------

【1.基本情報】

事業名	科学くふう展・科学の夢絵画展					
担当部名	教育委員会事務局		担当課名	科学館		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	昭和	55	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	児童生徒の科学に対する芽を育て、豊かな創造性の高揚を図る。					
内容 (手段・手法など)	市内小中学校から、児童生徒の夏休みの工作や絵画の一作品を募集し、展示会で一般市民に披露する。					
事業の 対象	何を	児童生徒の夏休みの工作や絵画の一作品を展示				
	誰に	児童生徒、一般市民				
	どのくらい	9月下旬～10月上旬(作品展開催)				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	650	20	646	20	636	20
パートタイム会計年度任用職員A	155	15	155	15	152	15
パートタイム会計年度任用職員B	96	20	0	0	0	0
計(A)	901	55	801	35	788	35

(2)物にかかるコスト

		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
直接経費 【直接事業費】 (B)		236	165	99
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	報告書印刷	100	85	0
	審査員旅費	28	28	29
	参加賞	42	50	44
減価償却費 【施設管理】 (C)		0	0	0
計(D)=B+C		236	165	99

(3)総コスト

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	1,137	966	887

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳	令和2年度決算額(千円)		
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
市負担額一般 財源(E-F)	1,137	966	887

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	くふう展絵画展入場者	くふう展絵画展入場者	くふう展絵画展入場者
受益者数	1,245	0	1,934
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	913	0	458

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)

活動指標名	作品応募点数		単位	点
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	800	800	800	
実績値	285	529	496	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	くふう展絵画展入場者数		単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	2,800	2,500	2,500	
実績値	1,245	-	1,934	
達成状況	×(未達成)	—	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	市内小中学校児童生徒の優秀な作品を展示するため、展示発表の場としてニーズがある。 市内小中学校児童生徒の作品であるため、市が担う必要がある。 類似事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	岐阜市教育委員会として実施・運営することが効果的である。 市内小中学校児童生徒の作品であるため、現状維持が妥当である。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	児童生徒からの作品の応募で、例年、展示会にもたくさんの市民が訪れており、児童生徒の科学やものづくりへの興味関心・創造力を高める事業として、現状維持が妥当である。なお、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインによる展示とした。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	市内小中学校児童生徒の作品の展示であることから料金を取るべきでない。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	児童生徒からの作品の応募で、展示会にもたくさんの市民が訪れており、児童生徒の科学やものづくりへの興味関心・創造力を高める事業として、現状維持が妥当である。 なお、令和2、3年度はコロナ禍の影響で、夏休みが減ったため、作品数も減少した。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号	2340890	__ 006
----	---------	--------

【1.基本情報】

事業名	科学館教育活動					
担当部名	教育委員会事務局		担当課名	科学館		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	昭和	55	年度～	年度	根拠法令・関連計画	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	科学への興味、関心を高める。					
内容 (手段・手法など)	植物、石等の観察や電気的な工作・パソコンの演習・習得、木の工作等ものづくりを通して科学への関心を高める。					
事業の 対象	何を	科学に関する工作・実験等				
	誰に	小・中学生及びその保護者、成人				
	どのくらい	開館日(子ども向け講座は主に土日)				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	毎年、科学への興味、関心を高めるため、現在のニーズ、過去の実績、コロナ禍を考慮し、講座・教室等の見直しを図り開催している。					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	20,963	645	25,679	795	16,790	528
パートタイム会計年度任用職員A	5,696	553	6,829	663	4,010	397
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	26,658	1,198	32,507	1,458	20,800	925

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		3,682	3,025	4,168
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	教材費	1,606	1,189	781
	教材備品費	656	521	311
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		3,682	3,025	4,168

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	30,340	35,532	24,968

【4.収入】

収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	276	446	619
計(F)	276	446	619

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	30,064	35,086	24,349

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	教室等参加者	教室等参加者	教室等参加者
受益者数	8,671	12,955	28,369
受益者負担額(千円)	276	446	619
受益者負担率(%)	0.9%	1.3%	2.5%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	3,467	2,708	858

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	講座数		単位	回
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	129	104	103	
実績値	79	66	103	

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	講座参加者数		単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	1,176	1,205	1,413	
実績値	1,071	1,065	1,682	
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	○(達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	児童生徒向けの講座が多いものの、大人向けの講座もあり、市民ニーズに合っている。 これらの講座は社会教育の1つであり、多くの受講者が市民であるため、市が担う必要がある。 類似の事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	ほとんどの講座は定員を上回る応募があり、効率性は高い。 一部の講座においては、NPO法人等により対応できる可能性もあるが、講師不足であり、対応できない懸念が考えられる。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	ほとんどの講座のアンケートによる満足度は高い。また、当館への来館者増につながる効果が見込める取り組みもある。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	各講座ごとに受講料を設定し、受益者に費用の一部負担を求め、公平性を高めている。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	ほとんどの講座で定員を超える応募があり、アンケートによる満足度も高い。これらの講座は社会教育の1つであり、現状維持が妥当である。なお、令和2、3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止による臨時休館・各種イベントの中止等のため講座開催数など減少した。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号	2340890	__ 007
----	---------	--------

【1.基本情報】

事業名	科学館サイエンスフェスティバル					
担当部名	教育委員会事務局		担当課名	科学館		
実施方法	補助等	補助等の種類	その他負担金	実施主体	実行委員会	
開始・終了年度	平成	24	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	将来の日本の科学技術を支える人材育成を行うため、広く市民の科学に関する興味関心を高めてレベルアップを図るとともに、理科好きな児童生徒にさらなる科学体験を提供する。					
内容 (手段・手法など)	講演会および科学実験工作展示を行う。					
事業の 対象	何を	通常では体験できない科学に関する講話や実験工作の体験				
	誰に	一般市民				
	どのくらい	11月中旬の土曜日				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	講演会の募集人数を最大収容人数の500人へ変更した。					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	585	18	0	0	1,272	40
パートタイム会計年度任用職員A	155	15	0	0	303	30
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	740	33	0	0	1,575	70

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		592	0	1,938
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	開催負担金	592	0	1,938
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		592	0	1,938

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	1,332	0	3,513

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	1,332	0	3,513

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	参加者	参加者	参加者
受益者数	290	-	1,695
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	4,591	0	2,073

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	講演会参加者		単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	250	-	500	
実績値	290	-	80	

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	入場者数		単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	3,000	-	3,000	
実績値	250	-	1,695	
達成状況	×(未達成)	—	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	レベルの高い科学体験を提供し、博物館として役割を高めているため 現状維持が妥当である。 博物館としての役割を高めているので市が担う必要がある。 類似事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	ノーベル賞受賞者などによる講演会を行うため、十分なPRができる。 学校教育との結びつきも強く、公共性が高いため現状維持が妥当である。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	毎年3千人程度の入場者があり、広く市民へ科学教育の振興を図る目的で講演会、科学実験工作等のブースなどを行っている。令和2.3年度はコロナ禍の影響があったが、4年度は回復傾向にあり、現状維持が妥当である。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	岐阜市文化センターを会場とし、入館料は無料としている。公平性は高い。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	毎年3千人程度の入場者があり、広く市民へ科学教育の振興を図る目的で講演会、科学実験工作等のブースなどを行っている。 なお、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止した。また、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、出展ブースは取りやめ、講演会のみ行った。しかし、令和4年度は回復傾向にあり、現状維持が妥当である。